

令和3年度 第36回

日新校区



少年の主張大会

主催 日新青少年育成会

青少年健全育成に関する標語の表彰も行います。

日時: 令和3年11月20日(土) 10:00~12:00

場所: 佐賀市立日新公民館 多目的ホール

(日新小学校) [出場者・演題]

- [1] 5年1組 今泉 友彩音 (末広東) 『来年も応援リーダーに!』
[2] 5年2組 幸山 優莉奈 (川原町) 『初めての応援団』
[3] 5年3組 眞島 萌香 (末広西) 『一生懸命な気持ちは伝わる!』
[4] 6年1組 渡邊 蒼唯 (中折下) 『「勇気」を出した運動会!』
[5] 6年2組 北島 実音 (道祖元町) 『最後のチャンス!』

(昭栄中学校)

- [6] 1年3組 田中 真心 (多布施三丁目) 『私が生まれた日』
[7] 1年3組 富田 凜凜 (岸川町) 『車イスの人とまわりの人』
[8] 3年2組 田中 心裕 (多布施三丁目) 『将来の夢』

※出場者・演題は、変更になる場合がありますのでご了承ください

※コロナ感染拡大防止のために無観客とし一般の入場をお断りします。

佐賀市青少年健全育成連合会主催で12月12日(日)12:40よりメートプラザに於いて、『第35回佐賀市少年の主張大会』が開催されます。コロナ感染拡大防止のために無観客とし一般の入場をお断りします。

令和3年度「佐賀市青少年健全育成に関する標語」の校区選出作品

「青少年健全育成」の標語

- スマホより ぼくを見てよね お母さん
日新小 4年 望角田 充 希
「ごめんね」と 言える人こそ ヒーローさ
日新小 5年 石田 晴斗
コロナより 笑顔の感染 拡げよう
日新小 6年 永石 ほほみ
見てるだけ それもいじめと 同じだよ
日新小 6年 有尾 卓矢
「ありがとう」言えた君にも 金メダル
日新小 6年 中山 桃花
マスクでも 笑顔になれる あいさつを
昭栄中 1年 中島 結生
広げよう 手と手をつないで 笑顔の輪
昭栄中 2年 北島 実梨
言うまえに 考えようよ その言葉
昭栄中 3年 西岡 龍一
気づいてる 笑顔のうらに ある涙
昭栄中 3年 吉由 碧依
声かけが 心をすくう あいことば
昭栄中 3年 大串 蘭

令和3年度

「佐賀市青少年健全育成に関する標語」校区応募作品数と応募者数

Table with 4 columns: 小学生, 中学生, 計, 応募作品数, 応募者数. Values: 小学生 205, 中学生 179, 計 384, 応募作品数 205, 応募者数 205.



2021/11月号

令和3年11月9日発行

発行元 佐賀市立日新公民館

〒840-0853 佐賀市長瀬町1番20号 TEL&FAX 26-9216

日新校区の世帯数、人口 (9月末日現在)

- 世帯数 4,466世帯
人口計 9,185人
男性 4,347人
女性 4,838人

満月の夜は宇宙旅行へ ウォーキングスルー観月会開催しました



今年で15回目となる観月会を10月20日(水)に開催しました。

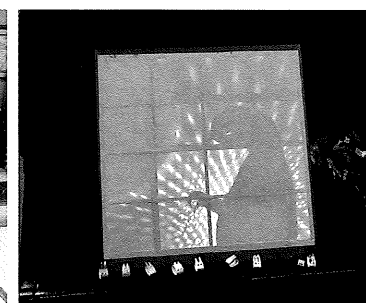
今年は「満月の夜は宇宙旅行へ」をテーマとして、森正彦さん(長瀬町)からお借りした恐竜(自転車廃材作品)をはじめ、新聞紙や毛糸などの手作り恐竜15体と共に月見をしてもらいました。

コロナ感染対策として、公民館多目的ホールの外と内を歩いて展示物を見てもらう形式にし、消毒・検温と更に今年は防護服の代用として雨カッパの着用、ビニール傘をさして一定の間隔をとることで密を避けるようにしました。

参加者: 108名(スタッフ含) 主催: 日新校区まちづくり協議会 地域文化部会



恐竜製作の様子



スケジュール(12月)

Calendar table for December with columns: 日にち, 行事, 場所. Includes events like '環境保全部会(寄せ植え)', '体協ミニテニス大会(中止)', '民生児童委員会定例会', etc.

スケジュール(1月)

Calendar table for January with columns: 日にち, 行事, 場所. Includes events like '公民館休館日', '民生児童委員会定例会', '自治会長会', etc.

※都合により日程等変更になる場合があります。

第9回 ニッシンライトファンタジー

12月10日(金)~1月10日(祝・月) 17:30~22:00

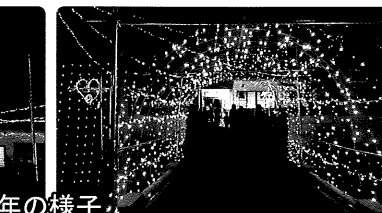
【点灯式】

日時: 12月10日(金) 17:30~

場所: 日新公民館駐車場

*参加賞100個 無くなり次第終了します。

*詳細は自治会回覧で確認してください。



昨年の様子

主催講座報告

日新さが学講座② 9/28(火) 『幕末佐賀藩の技術力』参加者22名

9月28日(火)日新公民館において、佐賀市文化振興課の中野充さんを講師に迎え、幕末佐賀藩の技術力として反射炉をはじめ精煉方、三重津海軍所など、日本の近代産業の基礎に佐賀藩が関わっていたことなどをわかりやすく説明していただきました。
受講者アンケートより
“佐賀の持つ歴史の奥深さを改めて実感いたしました。”
“精煉方跡の発掘結果が楽しみです。”



日新さが学講座③ 10/19(火) 【現地研修】歴史館 佐野常民と三重津海軍所跡の記念館 参加者19名



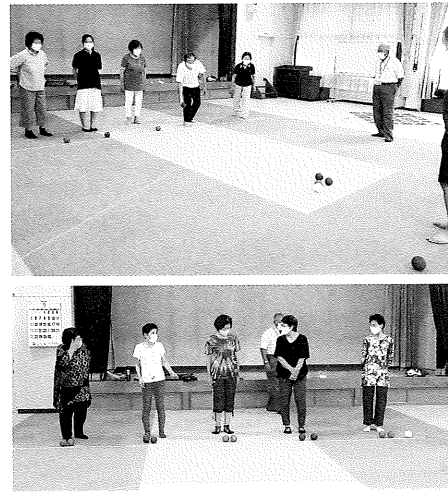
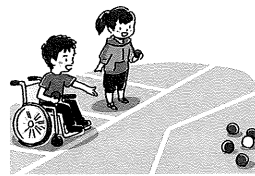
公民館たまたご箱

9月29日(水)公民館ボランティア研修として、副島正樹さん、武藤洋子さん(日新校区スポーツ推進委員)の指導のもと、ポッチャのゲーム体験とルールを教わりました。

今年のパラリンピックでも競技された話題のスポーツで、年齢問わず、障害のレベル問わずに誰でもできることから、ボランティアのみならずも楽しみにされていました。

来年度は、このスポーツをたまたご箱のメニューとして取り入れ、多くの方が体験できる場を広げていきたいと思っております。

*今年度の公民館たまたご箱は、公民館ボランティア研修と一般の参加募集は行いません。



趣味教養講座③ 色で楽しむおしゃれ 参加者13名

10月7日(木)日新公民館において、カラー&イメージコンサルタントの原田眞理子さんを講師に迎え、「色でおしゃれを楽しむ」をテーマに日常生活の中におしゃれ心を取り込むコツなどのアドバイスをもらいました。実際に各人がスカーフなどを自分流で身に付けて、ファッションショーも行い、心豊かになる楽しい時間となりました。



花と緑を楽しむ教室② 10/27(水) きれいな寄せ植えができました

日新公民館において、緑のカウンセラーの中川達也さんを講師に招き「寄せ植えの講義と体験」を開催しました。

寄せ植えの話をしっかり聞いた後、実際に植木鉢へ7種類の花苗を植木鉢に植えました。

参加者は、思い思いに花を選び作品を完成させていました。



共催：日新校区まちづくり協議会

健康セミナー 10/23(土) いろいろな『運動』をしよう!

コロナ禍の中で、辛い感染も小康状況にありワクチン接種もかなり進んでおりますので、感染防止の徹底と人数制限をさせて頂き思い切って開催の判断をさせて頂きました。お陰様で皆さん普段から引きこもり状態が続いていたせいか早朝から元々よくご参加を頂きました。(31名+スタッフ10名)スタッフも含めて41名のご参加でした。

講演は今回も「健康運動指導士の三谷先生」にお願いしました。相変わらず大爆笑でのセミナーで肉体的と精神的にリフレッシュさせて頂きました。(文責：栗丸)



主催：まちづくり協議会健康・福祉部会

秋の茶会

10/28(木) 参加者30名

秋の深まりを感じるこの季節、色々な人とおしゃべりしたり、一緒に四季を感じたりしたいところですが、コロナ禍により大勢で集まるイベントが厳しい現状です。今回も人数制限、時間制限などがありましたが、小さく、少しずつですが、人がつながる場となりました。



主催：にっしん茶屋の会

ぶらり散歩にっしん 2021 in 京土井



京土井自治会では、2014年(H26)から、ペットボトルキャップの自主回収が行われています。回収されたキャップは、指定の回収団体からのポリオワクチン代へリサイクルされていきます。

『自治会として何か社会貢献できないだろうか。』という当時の自治会長の思いを継承して、長寿会の原さんを中心に活動が継続されていました。

「第4次佐賀市男女共同参画計画」策定 ~一人ひとりが輝くダイバーシティ社会の実現へ~

「男女共同参画社会」とは、男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会のことです。男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを総合的かつ計画的に実施するために、「第4次佐賀市男女共同参画計画」を策定しました。「市民」「事業者」「自治組織等」「教育に携わる者」「佐賀市」が相互に連携強化を図り効果的に推進します。

■計画の期間
令和3年度~令和7年度

■重点的に推進すべき取り組み

- (1) 防災・政治分野における女性活躍の推進
- (2) 家庭における男女共同参画の推進
- (3) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進



「なぜ防災に男女双方の視点が必要なのか」考えてみましょう。

避難所で

私たちの地域には、多様な人々が暮らしています。高齢者、乳幼児、子ども、障がいのある人、妊産婦、外国人...。性別や立場が違えば、必要な住環境、物資、サービスも違ってきます。多様な人々に配慮した避難所運営を考えることで、みんなが過ごしやすい避難所になり、地域全体の被災状況を軽減することができます。

自主防災組織で

これまでの自主防災組織は、責任者の大半が男性で、女性は参加しても重要な決定の場にはいないのが現状でした。一部の男性に負担が集中することも問題となっていました。男女が性別にとらわれず能力を十分に発揮することが災害に強い地域づくりには欠かせません。

防災訓練で

いざというときに役立つ防災訓練は、女性や子ども・若者も含めて多様な人が参加できるよう工夫する必要があります。



【問い合わせ】 人権・同和政策・男女参画課 ☎40-7014 FAX34-4549